

9月1日
防災の日

土砂災害や地震に備えましょう！

【防災課】

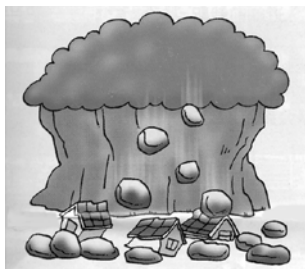
9月1日は「防災の日」です。「防災の日」は関東大震災の教訓を忘れないよう1960年（昭和35年）に制定されました。災害はいつ襲ってくるかわかりません。土砂災害・地震に備えましょう。

土砂災害

近年、集中豪雨により死者を伴う土砂災害が全国各地で発生しています。大雨が続くと、土石流、地すべり、がけ崩れなど土砂災害の危険性が高まります。土の中に溜まっている水の量が多くなるほど地盤が緩み、つぎのような前兆現象があるときは土砂災害が発生しやすくなります。

がけ崩れ

大雨や長雨により、大量の水が地面にしみ込み、不安定になった斜面が急に崩れ落ちることをいいます。

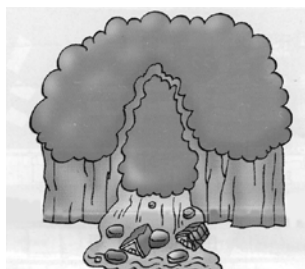


（前兆現象）

- がけから小石がパラパラと落ちてくる
- がけから急に水が吹きだす
- がけにひび割れができる

地すべり

すべりやすい土質を境に、上部の斜面が大雨などにより不安定になり緩やかに滑り落ちることをいいます。

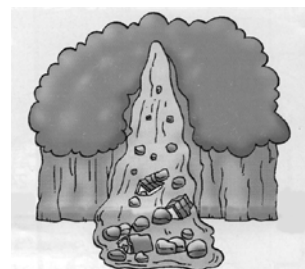


（前兆現象）

- 斜面から急に水が湧き出す
- 沢や井戸の水が濁りはじめる
- 斜面や地面にひび割れができる

土石流

集中豪雨などにより、水を含んだ大量の土砂や石が一瞬のうちに谷沿いに流れ落ちることをいいます。



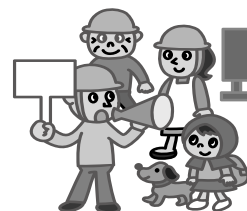
（前兆現象）

- 山鳴りがする
- 流れが急に濁ったり、流木が混ざったりする
- 降雨が続いているのに、溪流の水量が減る

安全

に避難するために

大雨による洪水や土砂災害などのおそれがある場合、気象庁から各種の防災気象情報が発表されます。特に「記録的短時間大雨情報」や「土砂災害警戒情報」が発表された場合は、災害が発生する危険度が高まっているため、最新の気象情報に注意し、早めに避難するようにしましょう。



1. 事前に準備を！

避難場所までの道順や避難情報の伝達方法などを事前に理解しておきましょう。

2. 持ち物は最小限に！

持ち物は背負うなどし、両手が使えらるようにならしましょう。また、ヘルメットで頭部を保護し、靴は運動靴を履いて動きやすく安全な服装で避難しましょう。

3. 隣近所で声をかけあい、集団で！

単独行動ではなく、隣近所で声をかけあい集団で避難しましょう。

